

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業効果検証シート
(R4年度事業分)

		担当課	商工課				
交付対象事業名	産業ニューノーマル創出事業		R4 事業費 (円)	計画額	100,000		
総合戦略の位置付け	基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大			実績額	100,000		
事業実施期間	令和3年度～令和5年度			交付額	50,000		
事業概要	SDGsを経営戦略として活用する企業を増やし、持続可能な経営への転換を促すために、SDGsを経営戦略として取り入れることに意欲的な市内の中小企業を対象に、群馬県とみどり市が連携して全4回のプログラムを開催する。						
活動内容	・第1回 2030SDGsについて 【講演】SDGsへの取り組み意義 【講演】中小企業が取り組むべきこと ・第2回 【講演】労務問題と企業コンプライアンス バリューチェーンマッピング作成の説明 目標管理・宣言書についての説明 ・第3回 【講演】地球環境問題 バリューチェーンマッピングの進捗確認 目標管理・宣言書についての進捗確認 ・第4回 各作成資料の進捗確認 発表会、修了証授与						
主な成果	市内5社の中小企業が参加し、専門家による集合カウンセリングを通じてSDGsの理解を深め、経営に役立つ目標設定や活動計画作成のための手法を学んだ。 環境、社会、ガバナンスを意識した上で、自社の優位性とリスクや脅威について考え、2030年に向け具体的な目標設定と施策内容を含む宣言書を作成することができた。						
重要業績評価指標 (KPI)	指標(単位)		開始前 (R2)	R3	R4	R5	
	民間事業者による新ビジネスモデル構築件数(件)	目標値	0	10	20	30	
		実績値		15			
	デジタル技術の活用等により生産性が向上した事業者数(社)	目標値	0	3	6	9	
		実績値		3			
	尾瀬環境保全、プラごみ削減優秀プランの実施事業者数(社)	目標値	0	20	42	66	
		実績値		1			
	SDGs企業選定制度：選定企業数(社)	目標値	0	40	80(5)	120	
実績値			45	83(5)			
取組の検証	事業効果	②地方創生に相当程度効果があった					
	課題・改善点	SDGsへの関心が低い企業に対して、取り組みによるメリットをどのように周知していくかが課題であると考えます。また、2030SDGsカードゲームを経験していることが要件となっておりますが、要件の緩和により参加がしやすくなると考えられます。					

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生に対して効果がなかった

例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合

例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合

例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合

例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場

今後の 事業展開の方針	⑥事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））	
	令和5年度は、前年度より募集数を増やし事業を企画しており、SDGsに取り組む企業の増加を目指している。一方、金融機関からの働きかけで、すでにSDGsの取り組みや宣言を行っている企業も増えてきているため、令和6年度以降は民間の取り組みに移行し、事業は予定どおり令和5年度で終了することを予定している。	

<今後の方針>

- ①事業の継続（計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する））
②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④事業の縮小
⑤事業の中止（継続的な事業実施を予定したが中止する（または、した））
⑥事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））